

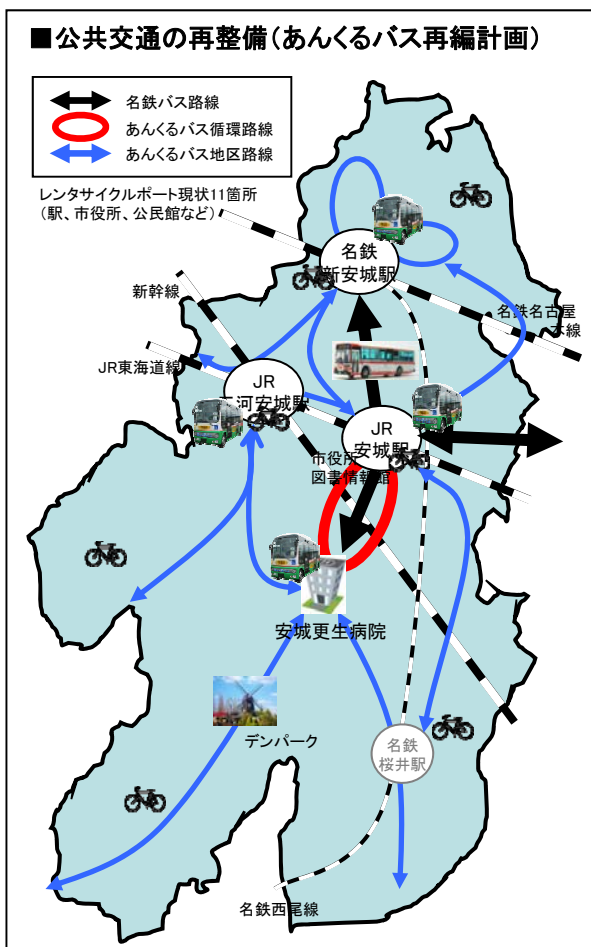
低炭素モビリティ導入によるまちの活性化と産業との共生による“安城モデル化”構想

～「市民とともに育む環境首都・安城」の実現を目指して～

代表提案者	株式会社デンソー
協同提案者	安城市、株式会社安城スタイル、豊田通商株式会社

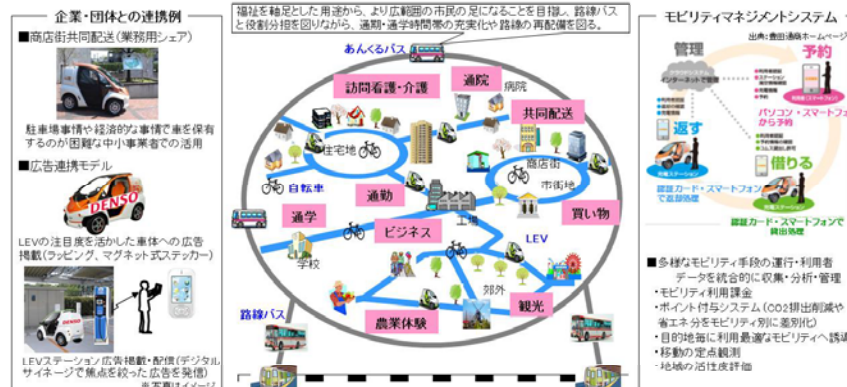
安城市は自動車関係の工場が多数進出し、愛知県下でも有数の人口増加地域である。しかし、人口が市内に分散しており公共交通網が脆弱であるため、自家用車依存度が高く中心市街地の空洞化が顕著。低炭素化と両立した人流・まちの活性化が課題である。公共交通の再整備と低炭素モビリティ(LEV)導入による回遊力の向上と共に、地域コミュニティ側からサービスを提供して、拠点の吸引力を高める。

※超小型モビリティ:LEV(Light Electric Vehicle)



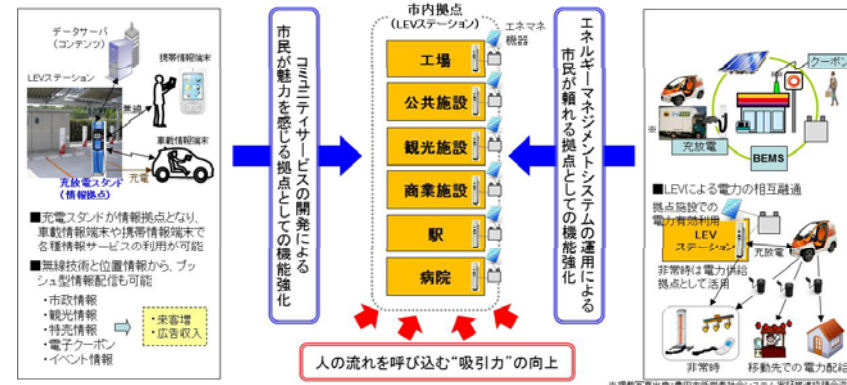
■リーディングプロジェクト①「市内交通と連携するLEVの導入とモビリティマネジメントシステムの整備」

プロジェクト
①LEVを活用したカーシェアリングの実証事業
②公共交通インフラ/自転車との連携方策の検討
③LEVカーシェアリング事業の拡大
④多様なモビリティの運行データの収集・分析



■リーディングプロジェクト②「市内施設の拠点化を目指したLEVステーション設置とエネルギーマネジメントシステムの整備」

プロジェクト
①LEVステーションの候補地選定
②検討WGの設立
③ICT基盤・システムの整備
④拠点地域へのBEMSの展開
⑤LEVIによるエネルギーの相互融通検討
⑥LEVステーションからの情報配信(コミュニティサービス)



※情報発信元:安城市市民生活システム課環境推進課企画資料